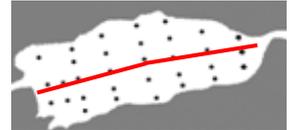


2025年1月 宍道湖 塩分・溶存酸素

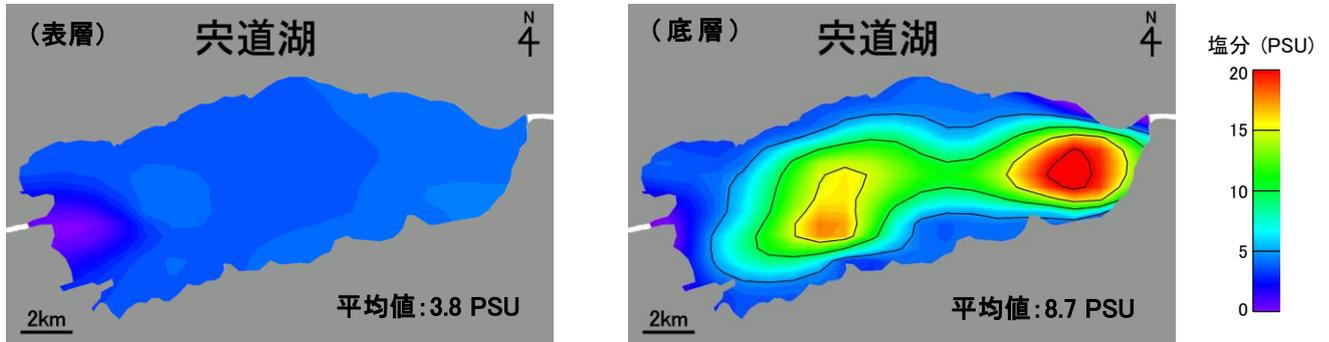
水域	調査日	天候	海況	水温 (表層平均)
宍道湖	2025年1月6日	曇り時々雨	静穏 → 西 2 m/秒	6.1℃

● 調査地点 — 鉛直ライン



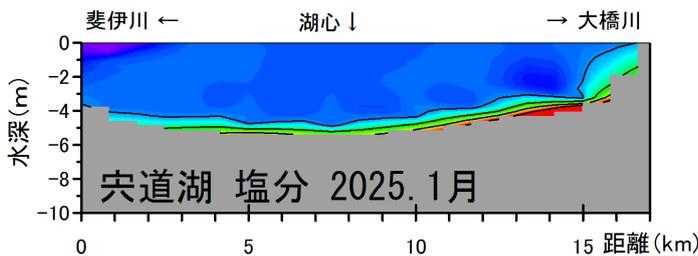
調査定点図

● 塩分 水平分布 (表層:左、底層:右)



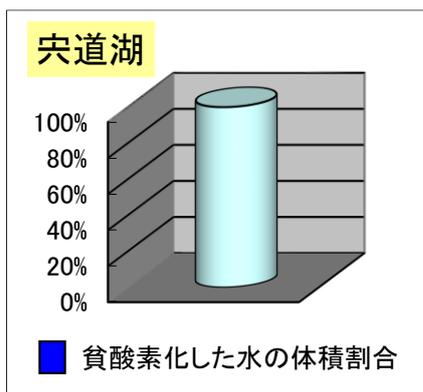
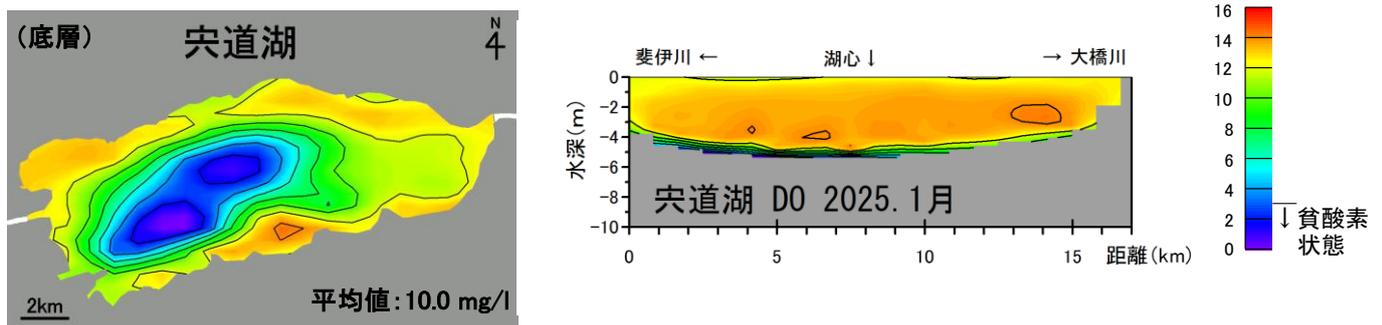
※塩分濃度のスケールは2020年6月より変更となっています。過去と比較する際はご注意ください。

● 塩分 鉛直分布



表層塩分の値は、斐伊川河口付近で低い値を示しました。底層では、来待沖と松江沖で高塩分水塊が確認され、中海から海水の流入があったと考えられます。平年値と比較すると、表層は平年をやや下回り、底層は平年並みでした。(『R6 年度水質状況』を参照)。

● 溶存酸素 水平分布(底層:左)と鉛直分布(右)



溶存酸素濃度は、宍道沖から湖心にかけての底層付近で低い値を示し、わずかに貧酸素水塊が確認されました。3 mg/l 未満の貧酸素水の体積割合は0%に近かった一方で、湖底面積に占める貧酸素水の割合は10.6%でした。
貧酸素水体積割合は、平年並みの値となりました(『R6 年度水質状況』を参照)。

● R6 年度水質状況

